

物理的性状	特徴的な臭気のある、揮発性、無色の液体。蒸気は空気より重い。酸化されやすく、酸素と接触すると過酸化物を生成し、加熱や衝撃によって爆発することがある。
	融点 (°C) : -122.5
	沸点 (°C) : 31.6
	水・オクタノール分配係数 (log Pow) : 1.66
	蒸気圧 (kPa (20°C)) : 66.5
	比重 1.2 (20°C/4°C)
	水溶解度 2.42g/L(25°C)
	ヘンリー定数 : 2,640 Pa・m ³ /mol (24°C)
	土壌吸着係数 K _{oc} =35(推定値) ⁵⁾

2. 主な用途及び生産量

主な用途	塩化ビニリデン系繊維、フィルム等の合成原料
生産量等	製造・輸入量は2,249tであるがこれは自家消費分を含まない(経済産業省,2003 ⁷⁾)。 また、平成13年における1,1-ジクロロエチレンの製造量(中間原料分)を約60,000tと推定している(NITE&CERI,2003 ⁵⁾)。

3. 現行基準等

(1)国内基準値等

水質環境基準値	0.1mg/L以下
地下水環境基準値	0.1mg/L以下
水道水質管理目標値	0.1mg/L以下
化管法	第1種指定化学物質(政令番号158)

(2)諸外国基準値等

WHO飲料水水質ガイドライン	0.03mg/L(第2版 ⁸⁾ 及び第3版 ¹⁾)、飲料水中で検出される濃度が低い為ガイドライン値を設定する必要はないとしている(第3版追補 ²⁾ 及び第4版 ⁹⁾)
USEPA(飲料水基準)	0.007mg/L(1993年)
EU	なし

4. PRTR制度による全国の届出排出量(平成24年度)

公共用水域	4,448kg/年(5.1%) (下水道業:3,947kg/年、下水道業を除く:501kg/年)
大気	82,776kg/年(94.9%)
合計	87,224kg/年

出典

1. WHO飲料水水質ガイドライン（第3版）Guidelines for drinking water quality, Third edition(World Health Organization,2004)
2. WHO飲料水水質ガイドライン（第3版1次追補版）Guidelines for drinking water quality, First Addendum To 3nd ed.Vol.1. Recommendations. (World Health Organization,2005)
3. U.S. NLM, National Library of Medicine (2002) HSDB, Hazardous Substances Data Bank Bethesda,MD. (NITE&CERI 初期リスク評価書,2005b から引用)
4. 通商産業省 通商産業公報（1991年12月27日）;製品評価技術基盤機構 化学物質管理情報(NITE&CERI 初期リスク評価書,2008c から引用)
5. 化学物質の初期リスク評価書 1,1-ジクロロエチレン(別名塩化ビニリデン) (NITE&CERI,2005b)
6. 中央環境審議会水環境部会排水規制等専門委員会（第5回）（平成22年10月）参考資料 図4を基に作成
7. 経済産業省 告示第53号（平成13年度化審法指定化学物質の製造及び輸入の合計数量に関する公表）,官報,平成15年3月11日.(NITE&CERI 初期リスク評価書,2008c から引用).
8. WHO飲料水水質ガイドライン（第2版第2巻）Guidelines for drinking water quality, 2nd ed.Vol.2.Health criteria and other supporting information. (World Health Organization,1996) 日本語訳：(社)日本水道協会
9. WHO飲料水水質ガイドライン（第4版）Guidelines for drinking water quality, Fourth edition. (World Health Organization,2011)

略語解説

- ・ NITE (National Institute of Technology and Evaluation)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
- ・ CERI (Chemicals Evaluation and Research Institute)
財団法人化学物質評価研究機構
- ・ WHO (World Health Organization) 世界保健機関

〔参考〕

中央環境審議会土壤農薬部会 委員名簿

	氏 名	所 属
部 会 長 (委 員)	中 杉 修 身	元上智大学大学院地球環境学研究科教授
委 員	相 澤 好 治	北里大学名誉教授
委 員	浅 野 直 人	福岡大学法科大学院特任教授
委 員	大 塚 直	早稲田大学大学院法務研究科教授
委 員 (部会長代理)	岡 田 光 正	放送大学教授
委 員	藤 井 絢 子	NPO法人菜の花プロジェクトネットワーク代表
臨時委員	浅 見 真 理	国立保健医療科学院生活環境研究部上席主任研究官
臨時委員	稲 垣 隆 司	前愛知県副知事
臨時委員	上 路 雅 子	(一社)日本植物防疫協会理事長
臨時委員	太 田 信 介	前全国農村振興技術連盟委員長
臨時委員	岡 崎 正 規	石川県公立大学法人石川県立大学生物資源環境学部教授
臨時委員	小 倉 滋	(一社)日本鉄鋼連盟環境・エネルギー政策委員会副委員長
臨時委員	小 川 賢 治	(一社)日本経済団体連合会環境安全委員会廃棄物・リサイクル部会長
臨時委員	五 箇 公 一	(独)国立環境研究所生物・生態系環境研究センター主席研究員
臨時委員	佐 藤 泉	弁護士
臨時委員	佐 藤 福 男	元秋田県農林水産技術センター農業試験場主席研究員
臨時委員	白 石 寛 明	(独)国立環境研究所環境リスク研究センターフェロー
臨時委員	染 英 昭	(公社)大日本農会会長
臨時委員	田 村 洋 子	全国地域婦人団体連絡協議会理事
臨時委員	築 地 邦 晃	盛岡農業改良普及センター主任農業普及員
臨時委員	根 岸 寛 光	東京農業大学農学部教授
臨時委員	平 田 健 正	国立大学法人和歌山大学理事
臨時委員	山 本 廣 基	(独)大学入試センター理事長
臨時委員	吉 田 緑	国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター病理部第二室長
臨時委員	和 気 洋 子	慶應義塾大学名誉教授

中央環境審議会土壤農業部会土壤制度専門委員会委員名簿

	氏 名	所 属
委員長	浅野 直人	福岡大学法学部教授
委員	大塚 直	早稲田大学大学院法務研究科 教授
委員	岡田 光正	放送大学教授
委員	中杉 修身	(元) 上智大学地球環境学研究科 教授
臨時委員	浅見 真理	国立保健医療科学院生活環境研究部上席主任研究官
臨時委員	小倉 滋	(一社) 日本鉄鋼連盟環境・エネルギー政策委員会副委員長
臨時委員	梶原 泰裕	(一社) 日本経済団体連合会環境安全委員会環境リスク対策部会長
臨時委員	佐藤 泉	佐藤泉法律事務所 弁護士
臨時委員	白石 寛明	(独) 国立環境研究所環境リスク研究センターフェロー
臨時委員	染 英昭	(公社) 大日本農会会長
臨時委員	田村 洋子	全国地域婦人団体連絡協議会理事
臨時委員	和気 洋子	慶應義塾大学名誉教授
専門委員	碓氷 辰男	(一社) 不動産協会環境委員会委員長
専門委員	高橋 晴樹	全国中小企業団体中央会専務理事
専門委員	成澤 智司	東京都環境局環境改善部土壤地下水汚染対策担当課長
専門委員	原 美由紀	川崎市環境局環境対策部環境対策課担当課長
専門委員	細見 正明	東京農工大学大学院工学研究院化学システム工学科教授